



# 全国花のまちづくりコンクール優秀賞受賞 ぐんまの玄関口を感動の花畑でお出迎え

NPO法人渋川広域ものづくり協議会

第25回(2015)全国花のまちづくりコンクールにおいて優秀賞をいただきました。花のまちづくりに関する3つの活動を紹介します。

1. 大変に交通量が多い関越自動車道・渋川伊香保インターチェンジ出入口の国道17号線中央分離帯は、かつて雑草が生い茂り、ゴミ捨て場のような状態となっていました。群馬を代表する伊香保温泉や草津温泉への玄関口であるこの場所の状況を憂いた会員からの提案で、「きれいになっている所にはゴミが捨てにくい」を合言葉に、渋川市の花が「あじさい」であることから、平成15年1780㎡に8,000株の西洋あじさいアナベルを植栽し環境美化活動に取り組み始めました。平成20年からは、国道17号線東町地区中央分離帯637㎡に3,000株のアナベルを植栽しました。活動に賛同する協力者は会員の他、地元企業や市民ボランティアへと拡がり、年間計画を立て、施肥、除草、草刈、清掃、補植、刈取り等を1年間15回程度実施しています。花の見ごろを迎えると、白い雲のじゅうたんのような花畑がひろがり、通行者に楽しんでいただいております。その結果、ゴミのポイ捨てを減少させることができました。アナベル苗を配布して花を広める取り組みも行っており、県内外の団体との交流を通じて、高崎鼻高花の丘、川場村、渋川市赤城町、同子持地区、太田市、埼玉長瀬町など、各地できれいに開花する景色が見られるようになりました。約3万人の来園者で賑わう渋川小野池あじさい公園「あじさいまつり」では、あじさいガイドを行い、アナベル苗無料配布を実施しています。



アナベルの白いじゅうたん



除草作業の様子



あじさいまつりでのボランティアガイドとアナベルさし芽の配布

2. 「渋川小野池あじさい公園」隣接里山に、平成21年市民130人で100本の桜の苗木を植えました。その後継続的に植樹や管理、散策道整備を行い、桜が開花しはじめたことから、平成27年4月に第1回桜まつりin小野池を開催しました。



園児と育てる花づくり

3. 春は6箇所の幼保園、秋は5園と地域住民参加で1回の「種から育てる花づくり」を実施し、完成した花苗は園庭、家庭の庭、公園、小学校等の公共施設に植えられます。世代間交流を図りながら自分で育てた花によるまちづくりに取り組んでいます。

花と緑のまちづくりを行っている当会のその他の活動としては、グリーンカーテン普及とグリーンカーテンのゴーヤと渋川が生産量全国トップクラスであるこんにゃくを使った「ゴーコン汁」(商標登録済)をはじめとするゴーコン料理普及を行っています。

今後、花を通しての交流人口の増加を目指し、幼稚園、保育園、地域の団体などと連携を図り、花であふれるまちづくりが次世代につながるような活動をしてまいります。

**NPO三大祭り日程** 平成28年4月 3日(日) 花の無人駅誕生in小野池  
平成28年5月14日(土) 緑の輪を広げよう2016 in 渋川  
平成28年10月2日(日) 第6回ぐんま山の日 in 小野池

